

令和3年度大分大学理工学部・工学部後援会総会（書面会議）の結果について（ご報告）

令和3年6月19日（土）～27日（日）の間開催いたしました後援会総会については賛成多数により、全ての議案が承認されましたことをご報告いたします。

令和3年度もこれまで同様、保護者の皆さまからお預かりした後援会費を適切に執行してまいります。

今後とも理工学部並びに後援会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年7月1日

大分大学理工学部・工学部後援会

会長 吉野 誠 治

なお、寄せられました意見は以下のとおりです。

#### ご意見

オンライン授業により、実験や実習をして書くはずのレポートが、資料だけ見て書くだけになっていて、本来学ぶべき内容が満たされていない不満や、ちゃんとした就職に繋がるのかという不安を、本人は抱えています。それでも授業料は今までと同じなので、保護者としても困惑しています。単位だけは取得できても中身・技術が伴わない学科について、今後対応していただけないのでしょうか？議案について承認はするものの、このような状況下で、後援会費を予定通り正しく使っていただけるのかも疑問です。ご回答を希望します。

#### 理工学部からの回答

ご意見ありがとうございます。新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐために、本学としてもオンライン授業を原則とする方針とせざるを得ませんでした。実験・実習を必要とする授業についても、科目によっては、学ぶ内容の学習効果について検討し、可能なものについては、オンラインを活用して、新たに動画を導入したり関連資料を追加するなどの工夫を加えて実施しているものもあります。このために、これまでの実施状況とは異なる、新たな授業の実施形態に戸惑いや不安を感じておられることかと思えます。

ただ、このところ大分県の新型コロナウイルス感染の状況が落ち着いてきており、7月12日より対面授業を基本とする方針に戻すこととしました。また学内でのワクチン接種の準備も進んできており、学生・教員の希望者へのワクチン接種を夏休み中に終え、今後大分県内の新型コロナの状況が安定すれば、後期は対面授業を基本として実施する予定です。

また就職などの指導は、就職担当教授や卒業研究での指導教員により個別に実施されます。学生の皆さんからの相談にも丁寧に対応する体制を整えていますので、疑問点や不安なことなど積極的に相談していただきたいと思えます。

さらに、実験・実習等のオンライン実施ですが、手を動かして行う実験と比べて実体験に乏しい面は否めませんが、実験・実習は1～3年生で行われており、対面授業再開後それを補完していきたいと考えています。また、卒業研究では必要に応じて研究室内で実験や演習が行われることとなりますので、実体験不足による不安感を払拭していただけるのではないかと思います。

以上ご理解頂ければ幸いです。

### 後援会からの回答

ご指摘のとおり、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン中心の授業となりました。移動についても制限が伴い、国際交流を支援する取組や就職活動支援のための取組のための予算が当初計画通りに執行できませんでした。令和3年度は、国際交流助成事業においては従来の渡航費用の助成に加えて、オンラインでの国際会議参加費用も助成対象に加えるなど、支援をより柔軟に行うことといたしました。また、コロナ収束により各種の制限が緩和された後も引き続き支援ができるように予算計画を立てております。今年度の予算執行の詳細は来年開催の後援会総会においてご説明させていただきますので、引き続きご理解とご協力の程よろしく願いいたします。

その他謝意・応援のコメント等を複数お寄せいただきましたが、省略させていただきます。